

宮田の環境を守る会通信

Vol. 14

私たちは、宮田村大久保区に民間事業者が計画している、放射性物質を含む廃棄物最終処分場の建設に断固反対します！

2016年10月18日

「宮田村大久保地区の地質条件」

9月4日：学習会：松島 信幸さん（理学博士 日本地質学会名誉会員）

民間事業者が最終処分場の建設を予定している大久保地区。この地は地質的にどういった場所なのか？ 伊那谷に活断層があることを発見するなど、山脈形成、伊那谷盆地の形成を研究してこられた松島先生より「宮田村大久保地区の地質条件」と題し、ご講演頂きました。

「大久保地区は、地下20m付近で地質的に大きな変化があり、より深部は粘土質に充填されており、不浸透性が増す。したがって廃棄物処分施設は、地下水のプールの中に立地することになり、近い将来、施設の破損・損傷が発生すると考えられる。」といった話がありました。

太田切川と天竜川の合流地点に近いこの場所は、改めて最終処分場に相応しくないことがわかりました。【質疑等は裏面へ掲載】



事業者へ解体工事に関する 申し入れ書を送りました

9月27日

旧プラント施設の解体に関して、当会の認識と立場

- 27年8月に「なし」と県に届け出していたアスベスト含有建材が、後日の調査では「ある」と判明された。このことは、大きな驚きであると共に不信感を持つこととなった。
- アスベスト含有建材の範囲を、現地にて当会に示していただきたい。
- アスベスト含有建材や焼却灰等の調査・検査では、当会も立ち会った上での公明正大な検体採取を行い、検査結果を検証できる体制を整えていただきたい。
- 旧事業者の残した大量の焼却灰やセメント汚泥、性状不明な液体、PCBを含むコンデンサーなどの廃棄物について、安全に処理されるよう「処理・解体計画」を立案し示していただきたい。

ご協力

ありがとうございました！！

駒ヶ根水と命を守る会と協力し、街頭署名を行いました！

9月24日土曜日にAコープこまがね店、西友駒ヶ根店にて、街頭署名活動を行いました。

当日は15時から16時半まで、お買い物に訪れた多くの方からご署名を頂きました。ご署名いただきました皆様、JAさん、西友さん、ありがとうございました。

建設反対署名の集約情報

10月6日現在

署名総数99,640名

大勢の皆様のご協力に心より感謝申し上げます！



学習会「大久保地区の地質条件」の質疑応答より

質問：「お話の中で『下平と赤穂の境、大久保と大原の境の大きな段丘が活断層の可能性がある』とありましたが？」

(松島先生) 調査しないとわかりません。地質的には、天竜川や太田切川が侵食しただけではないことは確かです。何故かという直線です。自然の水は必ず蛇行します。伊那谷には直線の崖はありません。断層粘土も出ているので、古い断層であることは間違いありません。活断層であるかどうかは、調べないとわかりません。

質問：「伊那谷の特徴は？」

(松島先生) 赤石山脈は、500万年以上前から度々隆起し、伊那谷を作りました。入笠山などから中沢への続きの山は、200万年ぐらい前に出来ました。赤石山脈の断層活動が始まると、中央アルプスが隆起し始めました。そうすると侵食が始まり、砂礫が盆地の中へ流れ出し、扇状地が形成されました。「菅の台」は断層で扇状地が切られて隆起した一段高い所で、今もその断層から水が湧き出ています(光前寺の延命水など)。「台」という地名は、扇状地が断層で隆起して出来ていて、断層地形を見事に表す地名です。「菅の台」ですが、駒ヶ根の人は「駒ヶ根高原」と観光地名に切り替えてしまった。非常に残念です。

質問：「地下水に浮いた状態となるこの施設について、コンクリートは水に弱いと感じるが？」

(松島先生) コンクリートの構造物は、木の構造物よりも実は弱い。針葉樹は、特にヤニを持っているので地下水の中の埋もれ木は腐らない。(杉が多い。近くに2000年以上の埋もれ木がある。) それに対して、コンクリートの寿命はとんでもなく短い。廃棄物をコンクリートで囲うらしいが、地下水が周りがある中で、寿命を何年と考えているのか。また、それから後の世界をどう考えているか、、、です。



【約180名の方にお越しいただきました】



飯綱町芋川区・中野市豊田地域連絡協議会との意見交換会



10月12日、松本市の民間事業者が最終処分場の建設を予定している飯綱町芋川区・中野市豊田地域連絡協議会の皆さんと意見交換会を行いました。県内各地に最終処分場計画の動きがあり、県外からの(放射能汚染)廃棄物の受入れなどに、適切に対応するよう連携して県へ働きかけることが確認されました。

訃報 関口鉄夫相談役

宮田村における20年前の廃棄物埋め立て問題、そして今回の民間事業者による放射性物質含有の廃棄物最終処分場問題について、相談役として様々な見識を授けて頂きました関口鉄夫先生が8月31日にお亡くなりになりました。

ここに、謹んで哀悼の意を表するとともに、衷心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。

発行：宮田の環境を守る会
会長：田中 一男(村議会)
miyadakankyo@gmail.com

